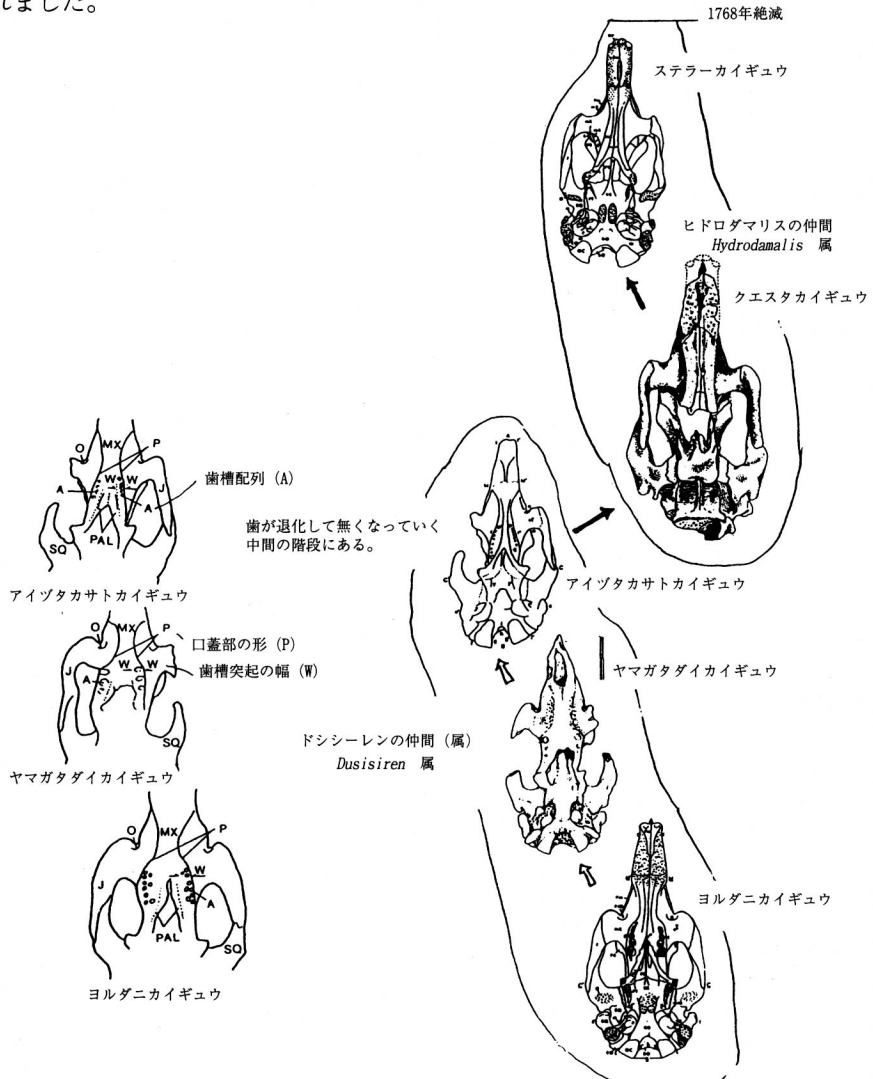


が、1995年アメリカ（シカゴ）にある Society of Vertebrate Paleontology（古脊椎動物学会）に発表された結果、アイツタカサトカイギュウは、学名が *Dusisiren takasatensis* といい、歯のあったドシシーレンが、やがて歯のないオオカイギュウにいたる進化の中で、歯がなくなる直前の、新種のカイギュウとして認められました。アイツタカサトカイギュウは、頭骨化石の長さから、体長が約3.7mと推定されています。

このように、アイツタカサトカイギュウは、大変保存の良い頭の化石を含むばかりでなく、日本のカイギュウの進化史を知る上でも貴重なものであることから、1997年福島県天然記念物に指定されました。



第13図 ヒドロダマリス亜科の Hydrodamalinae 頭蓋骨（腹側面）の進化の特徴